

これまでの区政会議における主な意見

資料 2

【地域コミュニティ・保健福祉部会】

NO	項目	主な意見	対 応
1	地域コミュニティの活性化	鶴見緑地という財産があるので、これを利用して老若男女が参加できるような行事を皆でやれば、いろんな話題提供や交流ができる。家に引きこもりがちな人達が地域活動に接する機会にもなるのではないかな。老人会でも会員の減少に苦慮している。	区役所では、鶴見緑地を活用し、区民まつりやワールドフェスタなど、様々なイベントを実施してきた。さらに、今年度は、地域が主体となった「チャリティ盆踊り」が開催され、たくさんの老若男女が集われたところである。引き続き鶴見緑地を活用したイベントを実施するとともに、地域で実施されている事業についても地域の広報紙など様々な広報媒体を活用した情報発信を行えるよう、広報支援を行い、各世代が地域活動に接する機会を創出する。
2	新たな担い手の確保	「地域に関わりたいが何をしたらいいのか、どこに聞いたらいいのか分からない」という意見をよく耳にするので、してほしいことと出来ることのマッチングが必要だと思う。それぞれの地域で出来れば1番良いのだが、広報紙だけでなく活動したい人と地域をつなぐ「マッチングサイト」のようなものを検討してみては。	魅力ある地域情報等を手軽に見れるよう、各地域活動協議会において、紙媒体（広報誌・チラシ等）だけでなく、電子媒体（HP・フェイスブック）も活用した情報発信が行えるような広報支援を行うとともに、区のHPにおいても、各地域活動協議会や各種団体の紹介を掲載する。

NO	項目	主な意見	対 応
3	地域支援チームの設置について	団塊の世代が75歳を迎える2025年を目前にして、地域も変わらないといけなが行政も同じ。地域活動支援課だけでなく、保健福祉課、子育て関係、区社協やまちづくりセンターなどが入ったチームを区長直轄で設置して、横断的な地域支援を行ってほしい。	平成29年度、地域活動支援施策と健康福祉施策との連携を強化し、よりきめ細やかな対応を行うため、「地域健康福祉戦略会議(仮称)」を、区長直轄のもと設置する。 今年度11月中旬に詳細を決定し、年度内に準備会を立ち上げてまいりたい。
4	地域有償ボランティア制度の定着	・自立運営ができないと区事業として継続していかなければならず、限界があるのではないか。 地域単位での展開を検討すべきではないか。 ・募集を含めた周知については、広報紙以外の有効な手立てはないのか	・会員数は少しずつ増加しているものの、自立運営が難しい状況であるが、介護保険制度など制度改正がある中、制度のはざままで支援を求める方は増加すると考えられ、事業の継続は必要と考えています。 区全体のバランスも必要と考えることから、当面は現在の制度運営とするが、各地域で支援制度を展開することはよりきめ細やかな配慮の中行えるものと考えられ、今後、事業進捗や状況を検証しつつ、制度運営を検討します。 ・募集を含めた周知については、広報紙等も重要であるが、事業名称等がはいったウェアの作製など、目に見える周知も工夫します。

NO	項目	主な意見	対 応
5	要援護者等の見守り支援について	・ 27 年度は「高齢者」を対象に同意確認を行ったが、特に孤立世帯の人たちの同意をどのような形でとって、どうフォローしていくのか。 ・ 要援護者の見守りについて、区役所は対象者を把握していても、本人同意が必要ということだが、同意された方は何%なのか。また、不同意や返信の無い方への対応をしているのか。	・ 区役所で要援護者のリストを整理し、区社協より同意確認を行っているいます。 同意を得た要援護者については、地域に情報を提供し、普段の見守り活動に活用いただいています。 また、孤立世帯等については、必要に応じて見守り支援ネットワークが対応していく。 今後も区役所と区社協とが連携し、地域での見守り手法などについて、支援を行っていきます。 ・ 平成 27 年度の郵送件数が 2075 件で、同意・不同意を合わせて約 75%、1576 件の返信があり、内、同意者が 917 件でした。不同意の方については無理に同意を得ることは難しいですが、返信のない方につきましては、見守り相談室が、ご自宅を訪問し、趣旨説明や同意の確認をしています。ご不在の場合は不在箋でのお知らせや、訪問を 3 回はするようにしています。

NO	項目	主な意見	対 応
6	障がいのある方の地域参加について	・障がいのある方々が地域活動に参加される場面をもっと増やせないか。	・今年度は「つながろうふれあいフェスタ」にて、舞台出演者を３件公募しているところです。 ・昨年参加のどの団体も活動の場や地域とのつながりを求めていましたので、地域の皆さんにお声がけできたらと考えています。 ・また、区のもっと大きなイベントに枠をつかって参加していける機会を設けることも目指して行きたいと考えています。
7	区役所職員と地域とのつながりについて	・区役所へ来た時やイベントの時だけでなく、区役所職員が各家庭へ戸別訪問できるような体制をつくって欲しい。	・区役所職員と地域の方々が顔の見える関係を作ることは大切であり、少しでも多く、区民の方々と関わられるよう努めます。
8	健康づくりの事業について	・区全体の健康づくりの事業も大事だが、地域が自分たちでやっていくための支援づくりも大切。 ・地域への支援については、地域によっては、指導者が高齢化しているのでできないところもある。 ・食育の活動や普及啓発を、身近な地域の施設を利用して行いたい。	・地域別アンケート集計によって出される課題等を整理し、地域の意見を聞きながら支援を実施していく。 ・食育活動の普及啓発をすすめるため、各地域の情報を収集し、啓発を実施する場所として身近な施設が利用できるよう地域団体や関係団体と協力して推進する。